

(参考様式2)

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成 26年 9月 4日

計画の名称	2	港湾の整備による地域力みなぎる南薩地域の形成（地域活性化）
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象 鹿児島県
計画の目標		

・指宿港等の整備により生活環境の改善を図り、地域住民にとって快適で住みやすく活力あふれる地域を形成する。

計画の成果目標（定量的指標）

・指宿港において異常時に陸揚げ・他港避難している船舶が避難係留可能となる。68隻（H22）が120隻に増加。【港湾の安全性・利便性の向上】
・各港において施設の長寿命化計画を行う。【長寿命化計画策定】

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
------------------	-----------------	-----------------

【港湾の安全性・利便性の向上】
現地調査調査及び利用者聞き取りにより異常時の避難係留可能隻数を算出する。

68隻	68隻	120隻
-----	-----	------

【長寿命化計画策定】 長寿命化計画の策定率を算出
「長寿命化計画策定率」＝（評価年度における長寿命化計画を策定した施設数／長寿命化計画を策定する全施設数）×100（%）

71%	100%	100%
-----	------	------

全体事業費

合計
(A+B+C)

507百万円

A

507百万円

B

百万円

C

百万円

効果促進事業費の割合
C / (A+B+C)

0.0%

交付対象事業

A1 港湾事業														全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	港湾 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）						
											H22	H23	H24			H25	H26
【港湾の安全性・利便性の向上】																	
2-A1-1	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	建設	防波堤(内)(係留タイプ)	水深 D=2m、延長 L=266m	指宿港・指宿地区						500	
2-A1-2	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	建設	浮桟橋	浮桟橋 1基	指宿港・指宿地区						7	
小計（港湾事業）														507			
合計														507			

B 関連社会資本整備事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						
										H22	H23	H24	H25			H26
合計														0		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						
										H22	H23	H24	H25			H26
合計														0		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

(参考様式3)

(参考図面)活力創出基盤整備

計画の名称	2 港湾の整備による地域力みなぎる南薩地域の形成 (地域活性化)	交付対象	鹿児島県
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

(その他事業)
2-A'1-3
小浦港

(その他事業)
2-A1-4
平崎港



(その他事業)
2-A'1-8
宮ヶ浜港

(その他事業)
2-A'1-9
魚見港

(その他事業)
2-A'1-7
指宿港

2-A1-1,2
指宿港

(その他事業)
2-A'1-6
東塩屋港

(その他事業)
2-A'1-5
松ヶ浦港

種子,屋久航路
(指宿港経由)

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 港湾の整備による地域力みなぎる南薩地域の形成(地域活性化)

事業主体名: 鹿児島県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑩地域の協力が見込める。	○
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○